

# 平成 30 年度久慈市社会福祉協議会事業報告

## ■ 事業の概要

平成 30 年度は、基本方針に掲げた「地域での支えあい活動の推進」、「久慈地域成年後見センター事業」、「生活支援・介護予防体制整備事業」「生活困窮者自立相談支援事業」を重点事業に、久慈市をはじめ関係機関・団体と連携を図りながら地域住民の参加・協力を得て、子どもから高齢者まで幅広く事業を展開しました。特に、久慈地域成年後見センター事業では、判断能力が不十分な方の成年後見人等となる法人後見事業の推進に努め、権利擁護を推進したところであります。

そのほか、児童生徒を対象とした福祉教育の推進に努めたほか、指定管理者受託事業（4 年目「指定期間 5 年」）においては、「福祉の村」等の施設管理や自主事業の実施など、これまでの実績をふまえ、改善を図りながら事業を推進するとともに、次期指定管理の受託に向けて取り組み、令和元年度からの指定管理者の指定（令和元年度～令和 5 年度）を受けたところであります。

以下、主な事業内容は次のとおりです。

## 1 会の運営

(1) 理事会 4 回、評議員会 1 回、定例監査、出納調査 3 回、評議員選任・解任委員会 1 回を開催し、適正な法人運営に努めました。

### ① 理事会

回	期 日	内 容
第 1 回	6 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"><li>会長の職務執行状況（10 月～3 月）について</li><li>事務局規程の一部改正について</li><li>平成 29 年度事業報告の承認について</li><li>平成 29 年度資金収支決算の承認について</li><li>定款の一部変更について</li><li>役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について</li><li>平成 30 年度資金収支補正予算（第 1 号）について</li><li>平成 30 年定時評議員会の開催について</li></ul>
第 2 回	9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 30 年度資金収支補正予算（第 2 号）について</li><li>福祉の村等の指定管理者の指定申請について</li><li>老人デイサービス事業（しあわせ SUN）の廃止について</li></ul>
第 3 回	11 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"><li>会長の職務執行状況、主要行事（4 月～9 月）及び予算執行状況の報告について</li><li>老人デイサービス事業（しあわせ SUN）の廃止スケジュールについて</li><li>評議員の補充選任にかかる候補者の推薦について</li><li>第 1 回評議員選任・解任委員会の招集について</li></ul>
第 4 回	3 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"><li>福祉の村等の指定管理者の指定について</li><li>ふくしサロン「しあわせ SUN」設置管理規程等の廃止及び事務局規程の一部改正について</li><li>平成 30 年度資金収支補正予算（第 3 号）について</li><li>定款施行細則及び経理規程の一部改正について</li><li>平成 31 年度事業計画について</li><li>平成 31 年度資金収支予算について</li></ul>

② 評議員会

回	期 日	内 容
第 1 回 (定時)	6 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度事業報告の承認について</li> <li>平成 29 年度資金収支決算の承認について</li> <li>定款の一部変更について</li> <li>役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について</li> </ul>

③ 監査・出納調査

監査等	期 日	内 容
定例監査	5 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度事業及び資金収支決算事項</li> </ul>
出納調査	8 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 月～6 月までの資金収支執行状況</li> </ul>
	11 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 月～9 月までの資金収支執行状況</li> </ul>
	2 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>10 月～12 月までの資金収支執行状況</li> </ul>

※ 平成 30 年度 1 月～3 月までの資金収支の執行状況は令和元年 5 月 15 日に定例監査を実施。

④ 評議員選任・解任委員会

回	期 日	内 容
第 1 回	12 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員の補充選任について</li> </ul>

(2) 執行理事会を開催し、円滑な運営に努めました。(10 回)

(3) 行政連絡区長に福祉委員を委嘱し、社協会費の取りまとめや社協だよりの配布などに協力いただいたほか、連携を図りながら福祉活動を推進しました。

(4) 各世帯からの一般会費、福祉施設・団体からの特別会費、民生委員・社協役員からの賛助会費の納入協力を得て、福祉活動財源の確保に努めました。

会費種別	30 年度		前年度比較	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
一般会費	10,281	10,280,200	△90	△90,600
特別会費	66	132,000	△ 1	△10,000
賛助会費	151	183,000	2	19,000

(5) 職員スキルアップ研修会 (3 回) を実施したほか、各種研修会に積極的に参加し、役職員の資質向上に努めました。

(6) 社会福祉法人制度改革に伴う経営組織のガバナンス強化、財務規律の強化、事業運営の透明性の向上に努めました。

## 2 施設の管理運営

(1) 総合福祉センター及びチャレンジランドの管理運営にあたっては、施設や設備の維持管理のほか各種事業の実施、広報等による利用情報の提供により利用促進に努めました。

また、福祉の村、屋内温水プール及び山形老人福祉センターの指定管理者として、施設及び設備の維持管理のほか自主事業を実施し、利用促進に努めながら次期指定管理の受託に向けて取り組み、令和元年度からの指定管理者の指定 (令和元年度～令和 5 年度) を受けたところであります。

## (2) 施設の利用状況

### ① 総合福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
講堂	8,602名	△1,439名
研修室	4,027名	△1,054名
多目的ルーム	4,321名	△1,361名
調理実習室	201名	△286名
憩いの間	950名	△129名
浴室	695名	△52名
ボランティアルーム	691名	△123名
ティーラウンジ	3,000名	△444名
健康増進コーナー	89名	△162名
合 計	22,576名	△5,050名

### ② 福祉の村、温水プール利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
温水プール	35,064名	△4,156名
茶室	1,700名	△107名
野外ステージ	570名	△132名
野外(イベント・遊具等)	8,796名	△1,369名
合 計	46,130名	△5,764名

### ③ チャレンジランド利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
チャレンジランド	2,608名	△49名
合 計	2,608名	△49名

### ④ 山形老人福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
山形老人福祉センター	5,799名	△58名
合 計	5,799名	△58名

## (3) 指定管理自主事業

### ① 福祉の村

期日等	事業名	内 容	参加者数	前年度比較
5月27日	高校生茶道講習会	・講話「お茶の歴史について」 ・調理実習「和菓子作り」 ・実技「立ち居振る舞い」	42名	△7名
6月17日～ 3月10日(12回)	子ども生け花教室	・生け花の歴史 ・生け花創作	延べ 94名	32名
5月20日～ 11月11日(12回)	子ども茶道教室	・礼儀作法、お茶・お菓子の 頂き方等	延べ 297名	24名

② 屋内温水プール

期日等	事業名	内 容	参加者数	前年度比較
4月～3月 (延べ369回)	ショートプログラム	・対象者：一般（18歳以上） ・30分間の教室。スイムレッスン、アクアサーキット、楽々ウォーキング、インターバルウォーキング	延べ 2,156名	44名
12月～2月 (延べ3回)	ファミリー教室	・対象者：3歳～6歳と保護者 ・水慣れ、水遊びなど	延べ 20名	△39名
4月～3月	ファミリー割引 入場券	・対象者：小学生以下1名と 保護者（18才以上） ・通常800円を500円で入場	1,244名 (購入620名)	△48名
4月～3月	1ヵ月シニア フリーパス券	・対象者：一般（60歳以上） ・金額4,000円 ・購入日を含む30営業日有効	1,658名 (購入101名)	309名
6月26日、 12月4日	健脚度測定会	・対象者：自主事業参加者 ・測定により歩行能力認識と転倒予防の意識啓発を図る	延べ 10名	—
7月～8月	ポイントカード キャンペーン	・対象者：中学生以下 ・1回1ポイント、3ポイントで1回 無料（カード配布数273枚）	無料券 利用 32名	△51名
10月6日～8日	無料開放 (体育の日等)	・対象者：市民	288名	93名
1月3日	無料開放 (初泳ぎ)	・対象者：市民	81名	18名
3月3日	チャンプカップ	・対象者：小中学生、一般 ・水泳記録会	44名	△14名

③ 山形老人福祉センター

期 日	事業名	内 容	参加者数	前年度比較
7月5日	高齢者防犯対策講座	知って防ごう特殊詐欺	32名	新規
7月25日	生きがづくり教室①	古代のロマンを訪ねて（久慈市の遺跡について）	13名	△7名
8月31日	いきいき料理教室	バランスばっちり！減塩料理	12名	—
9月7日～ 10月16日	趣味創作講座（9回）	和紙で作る“てまり行灯”	68名	△13名
11月22日	生きがづくり教室②	片付けからはじめる生前整理はじめの一步	38名	18名
12月21日	男の料理教室	手打ちそばで年越しをしよう (そばづくり教室)	13名	±0名
1月29日	ニュースポーツ交流会	カローリング、シャッフルボード	14名	△32名
3月26日	健康づくり教室	ちょこっとが大事！健康づくり	30名	±0名

### 3 地域福祉事業の推進

(1) 久慈市からの補助を受け、福祉活動専門員 1 名を配置し、地域福祉事業を推進しました。

#### (2) 地域での支えあい活動の推進

平成 27 年度に策定した第 2 期久慈市地域福祉計画及び社協地域福祉活動計画に基づき、久慈市や町内会等自治組織と連携を図りながら、地域での支えあい活動を推進しました。

① 支えあい活動情報の提供

② 地域福祉講演会の開催（久慈市社会福祉大会にあわせて開催）

・講演 「あたたかさをまわそう～無縁化社会から有縁社会へ～」

講師 篠原 鋭一 氏

（長寿院住職/NPO 法人「自殺予防ネットワーク風」理事長）

・参加者 268 名

③ ふれあいサロン実施への支援

サロンの立ち上げや実施内容について連絡調整を行ったほか、共同募金等による活動費助成の情報提供と申請手続きを支援しました。

ア 実施に係る費用の一部助成（1 月：上限 2 千円）

年度	サロン数	参加者数 (延べ)	内、ボランティア数 (延べ)	実施回数	実施月数
30 年度	99 ヶ所	14,253 名	2,084 名	1,260 回	1,005 月
前年度比較	5 ヶ所	△628 名	△468 名	△27 回	33 月

イ 訪問相談対応（40 ヶ所「前年度比較 23 ヶ所」）

ウ 物品（輪投げ等）の貸出（17 件「前年度比較△15 件」）

エ ボランティア行事用保険の加入助成（29 件「前年度比較 1 件」）

オ 活動費助成の情報提供

（提供回数 2 回「前年度比較±0 件」、申請手続き支援（5 件「前年度比較±0 件」）

カ ふれあいサロンの集いの実施

情報提供及び情報交換の場として、市内全域を対象としたふれあいサロンの集いを実施しました。（参加者 54 名）

キ 地区ふれあいサロンの集いの実施

地区での情報交換の場として、地区ふれあいサロンの集いを実施しました。

（実施地区：河南・河北、久慈湊、大川目、山形 参加者延べ 100 名）

④ 住民支えあいマップづくりの支援

住民支えあいマップづくりを希望する町内会へ出向き、マップづくりの支援を実施しました。（1 ヶ所、延べ 1 回）

⑤ 町内会等による除雪要支援世帯に対する除雪支援活動への助成

高齢や障がい等により自力で除雪をすることが困難な世帯に対して、町内会等の団体が行う除雪支援活動に助成しました。

登録団体：9 団体（内、1 団体に 15,000 円助成）

#### (3) 広報活動の実施

① 社協だより「しあわせ SUN」の発行（全戸配布 4 回）

② ホームページによる情報提供（随時更新）

③ 声の広報事業の実施

朗読ボランティアによる「声の広報」事業は、広報くじ、議会だより、社協だより等をデジタル録音し、視覚障がい者を対象に毎月2回無料でコンパクトディスクを貸し出しました。(24回発行、利用者延べ185名「実利用者8名」、朗読ボランティア延べ148名「実ボランティア数10名」)

(4) 心配ごと相談所の設置運営

毎週月曜日から金曜日まで、常設相談所を開設し各種相談活動を実施するとともに、相談内容に応じた福祉サービス情報を提供しました。

【分野別相談件数 ※( )内は前年度比較件数】

生 計	年 金	職業・生業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚
245(△44)	0(0)	1(0)	3(2)	0(△4)	0(0)	0(△3)
健康・衛生	医 療	精神保健	人権・法律	財 産	事 故	児童・ 母子保健
0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(△6)	0(△1)	0(△1)
教育・ 青少年	心身障が い者福祉	母子・ 父子福祉	老人福祉	苦 情	その他	合 計
0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	251(△56)

※対応日数 244日

(5) 久慈市社会福祉大会の企画・運営

大会委員会を設置し企画・運営を行い、11月19日に大会を開催し多年にわたり社会福祉の発展に寄与された個人及び団体を表彰しました。(参加者：268名)

表 彰 種 別		人数等
久慈市長表彰	民生委員・児童委員	5名
	社会福祉事業功労者	2名
	広く社会に顕彰する者	2名、1団体
久慈市社協会長表彰	社会福祉事業功労者	14名
	ボランティア活動功労者・団体	5名、4団体
	褒賞(在宅介護者)	6名

(6) 岩手県社会福祉大会への参加

10月31日、岩手県民会館において開催された、第71回岩手県社会福祉大会の席上で多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々が表彰されました。

表 彰 種 別		人数等
岩手県知事表彰	社会福祉団体の役員	1名
	社会奉仕功労者並びに団体	1団体
	感謝状(在宅介護者)	2名
岩手県社会福祉大会長表彰	社会福祉事業功労者	1名
	ボランティア活動功労者、団体	1団体
	共同募金運動功労者、団体	1名
	永年勤続功労者	2名
	褒賞(在宅介護者)	4名

(7) 歳末たすけあい運動の実施（民生児童委員協議会と協働実施）

配分対象者調査を実施し、対象者1人あたり4,000円の義援金を贈りました。

区 分	人 数		金 額
	30年度	前年度比較	
要介護高齢者（65歳以上）	38名	△2名	152,000円
一人暮らし高齢者（75歳以上）	445名	△10名	1,780,000円
1級・2級身体障がい児者	143名	△12名	572,000円
知的障がい児者	72名	△1名	288,000円
1級・2級精神障がい者	75名	△3名	300,000円
合 計	773名	△28名	3,092,000円

(8) 障がい者の社会参加及び自立支援への取り組みの推進

久慈地域障害者自立支援協議会運営会議の構成団体として参画し、関係機関と連携しながら久慈地域の障害者支援の充実に向けて取り組みました。（会議出席9回）

(9) 介護機器貸し出し事業の実施

在宅の要介護高齢者や障がい者等の日常生活を支援するため、介護用ベッド、車椅子等を設備し、無料で貸し出しました。【貸出件数 ※（ ）内は前年度比較件数】

① 本所

介護用ベッド		車椅子		その他（杖等）	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
40(△6)	179件(△35件)	85(△6)	246件(△113件)	91件 (△36件)	516件(△184件)

② 山形事務所

介護用ベッド		車椅子		その他（杖等）	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
—	—	13(±0)	8件(±0)	—	8件(±0)

(10) 久慈市民生児童委員協議会活動の支援

活動費の一部助成のほか、民児協事務局として各種事業を推進するとともに、歳末たすけあい運動や地区定例会など社協と民児協が連携した事業の実施により、民児協活動を支援しました。

(11) 久慈市老人クラブ連合会活動の支援

活動費の一部助成のほか、市老連事務局として各種事業を推進するとともに、シニアスポーツ大会や白樺大学など社協と市老連が連携した事業の実施により、市老連活動を支援しました。

(12) 福祉団体等の活動支援

活動費の一部助成のほか、活動の助言指導や連絡調整等を行い、各団体の活動を支援しました。

#### 4 地域活動支援センターチャレンジランドの運営

障がいのある人達の生活を支援する施設「チャレンジランド」において、週3回「地域活動支援センターチャレンジランド事業」を実施し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めました。（延べ143回開催、利用者延べ1,170名「実利用者9名」）

## 5 ふくしサロン「しあわせSUN」の運営

中心市街地の2つの空き店舗を活用して、高齢者や子ども、ボランティア、障がいのある方などが気軽に行き交うことができるサロンを開設し、世代間交流の促進等を図りながら事業を推進しました。

### (1) 「しあわせSUN ご近所介護ステーション」

- ① 地域密着型通所介護（予防）事業の実施（利用者延べ1,019名）
- ② 「みんなのトイレ」の開放
- ③ ボランティア活動情報ボード（掲示板）の設置
- ④ ボランティアによる健康相談「こはくのまちの保健室」開設の支援（月1回）

### (2) 「しあわせSUN つどいの広場」（久慈市委託事業）

- ① 子育て親子の交流・集いの場の提供（延べ305日開設）
- ② 子育てアドバイザーによる「スマイル子育て相談会」の開催（12回、参加者延べ18名）
- ③ 情報紙「SUNSUNひろばだより」の発行（32回発行）
- ④ 子育て支援講習「SUNSUNひろば」の開催（12回開催、参加者延べ60名）
- ⑤ 絵本の読み聞かせ会「よんで!よんで!!」の開催（12回開催、参加者延べ49名）
- ⑥ 親向け講習会「パパ・ママゆとりタイム」の開催（1回開催、参加者7組）
- ⑦ おもちゃリサイクル販売「おもちゃマーケット」の開催（3回、来場者延べ588名）
- ⑧ どんぐり工房による喫茶コーナーの設置・運営（44回開設、利用者延べ534名）

【利用状況】

（人数は一部再掲）

ご近所介護ステーション			つどいの広場		
区分	30年度	前年度比較	区分	30年度	前年度比較
デイサービス利用者	1,019名	△124名	親子等利用者	3,354名	△1,189名
一般入場者等	851名	△208名	一般入場者等	4,402名	1,161名
合計	1,870名	△332名	合計	7,756名	△28名

※ ご近所介護ステーションは、利用者の減に伴う収支状況の悪化と事業開始当初の使命を果たしたことから、平成30年度をもって廃止した。

## 6 ボランティア活動事業の推進

### (1) 地域福祉活動コーディネーターを設置し、関係機関と連携を図りながらボランティア活動や地域福祉活動を推進しました。

### (2) ボランティア活動センターの設置運営

ボランティア活動センターを設置し、ボランティア団体やボランティア連絡協議会と連携した事業の推進により、ボランティアの育成支援を図りました。

- ① ボランティア活動センター運営委員会の開催（3回）
- ② ボランティア登録の状況

年度等	登録団体数	登録者数
30年度	38団体	1,738名
前年度比較	2団体	△200名

- ③ ボランティア活動の連絡調整  
（延べ237件「前年度比較△2件」、972名「前年度比較△49名」）
- ④ ボランティア活動資材の貸出  
（本所：延べ56件「前年度比較△24件」、山形事務所：延べ22件「前年度比較△3件」）
- ⑤ 活動費助成の情報提供  
（提供回数2回「前年度比較±0件」、申請手続きの支援5件「前年度比較±0件」）



- ⑥ ボランティア団体実態調査の実施 (36 団体)
- ⑦ ボランティア保険の加入促進及び保険料の助成  
ボランティア活動センター登録者 (希望者) にボランティア活動保険掛金の一部を助成 (1 人 150 円) し、保険の加入促進に努めました。(417 名に助成)
- ⑧ 地域ボランティア活動助成事業の実施  
福祉基金の利息を活用して、地域住民の生活を支援するボランティア活動や子ども達が参加するボランティア活動に助成し活動を支援しました。  
(助成団体 4 団体、助成総額 286, 000 円)
- ⑨ 手話入門教室の開催  
ボランティア養成のため、手話サークル輪っこの会と共催で開催しました。

期 日	講 師	内 容
7 月 25 日～ 8 月 23 日 (5 回)	手話サークル輪っこの会 櫻庭千里 氏、高屋敷真喜子 氏	・参加者延べ 22 名 (前年度比較 9 名) ・手話の表現方法、挨拶、交流会、聴覚障がいについて等

- ⑩ あんしんお手伝い教室の開催  
基礎的な介護の知識や技術の学習を通し、あんしんサポート協力会員の育成と地域で暮らす高齢者等への理解を深める教室を開催しました。

期 日	内 容	参加者数
1 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「福祉機器等の使用方法や住宅改修について」 講師 (有)ケアサポートホソタ 福祉用具専門相談員 太田 寿栄 氏</li> <li>・実技 ベッド上での体位変換方法 ベッドから車いすへの移乗方法 講師 久慈地域リハビリテーション広域支援センター 作業療法士 大橋 美沙子 氏</li> </ul>	20 名 (前年度比較 3 名)

- ⑪ 友愛はがき事業の実施  
一人暮らし高齢者 (67 名) を対象に、月 1 回ボランティアのハガキによる友愛活動を実施しました。(ボランティア延べ 656 名)

### (3) ボランティア連絡協議会活動の支援

活動費の一部助成のほか、社協とボランティア連絡協議会が連携した事業の実施により、活動を支援しました。

### (4) あんしんサポート事業の実施

日常の家事に困っている方や介助が必要な方に対して、有償ボランティアによる家事援助サービスを提供しました。

年度等	利用会員数	協力会員数	利用件数 (延べ)	活動時間 (延べ)	主なサービスの 内容
30 年度	172 名	35 名	701 件	1, 157 時間	掃除、買い物、通 院介助、草取り等
前年度比較	16 名	△13 名	△33 件	37 時間	

### (5) 福祉施設ふれあいサロン実施の支援

福祉施設の持つ機能を活用して実施する福祉施設でのふれあいサロンに、ボランティアを派遣するなど実施を支援しました。

地 区	場 所	回数	派遣ボランティア数
上長内	松柏園・みずき園	12 回	12 名
門 前	門前保育園	3 回	3 名
川 貫	川貫保育園	2 回	2 名
小 袖	小袖保育園	3 回	6 名

## (6) 福祉バザーの開催

期 日	内 容	来場者
11月23日	・台風の影響でふれあい福祉まつりを中止したことから、福祉バザーのみ開催。 ・益金 223,690 円（共同募金と東日本大震災久慈市地震災害義援金へ寄付）	273 名

## 7 福祉教育の推進

保育園、小中高等学校、地域やボランティア団体、社会福祉法人等と連携して、子ども達が主体となるボランティア活動や交流・体験活動の場を提供し、次代を担う子ども達の「福祉のこころ」を育む事業を推進しました。

### (1) 鯉のぼりフェスティバルの開催

児童の健全な育成を願い、4月26日に市内15保育園284名の協力を得て、市民から寄付された鯉のぼり約50匹を福祉の村に掲揚しました。（掲揚期間中4/26～5/20の来場者3,471名）

### (2) 寺子屋合宿の開催

ボランティア体験や異世代交流を通して、思いやりの心を育むことを目的に1泊2日の体験合宿を開催しました。

期 日	場 所	内 容
8月4日～5日	慈光寺	・参加者：小学生48名（前年度比較△12名） 高校生等ボランティア38名（前年度比較2名） ・内 容：カレーコンテスト、朝勉強、被災地に向けた土嚢袋メッセージ等

### (3) 福祉作文コンクールの実施

児童・生徒の福祉意識の高揚を図る福祉作文コンクールを実施し、優秀作4編、準優秀作5編、佳作8編の入選者を久慈市社会福祉大会において表彰しました。

区 分	応募数	区 分	応募数
小学校低学年の部	3 編	中学校の部	15 編
小学校高学年の部	22 編	高等学校の部	5 編
		合 計	45 編

### (4) 福祉教育出前講座の実施

小中学生等を対象に、障がい者や高齢者に対する知識と理解を深め、思いやりの心を育む福祉教育出前講座を実施しました。

内 容	実施校数	講 師
キャップハンディ体験（車いす）	小学校7、中学校1	社協職員・天神会・琥珀会・修愛会・事業団・慈恵会・障がい者観光サポーターの会
キャップハンディ体験（アイマスク・白杖）	小学校6、中学校1	社協職員・天神会・琥珀会・修愛会・事業団・慈恵会・障がい者観光サポーターの会
高齢者疑似体験	小学校2、中学校1	社協職員・慈恵会・事業団障がい者観光サポーターの会
点字体験	小学校1、中学校2	点字サークル会員
手話体験	小学校4	振興局ろうあ者相談員

#### (5) キャップハンディ指導者養成講座の実施

福祉教育出前講座の指導技術及びその効果を高めることを目的に実施しました。

期 日	講 師	内 容
9月3日	ユニバーサルサービス (US) 倶楽部 代表 佐藤 裕弥 氏	・参加者 29 名 ・キャップハンディ体験指導者ワンポイント講座 (車いす・白杖・シニア体験)

## 8 貸付事業の推進

岩手県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金事業の委託を受け、所得の不安定な世帯、障がい者世帯の自立支援のため貸付相談や事務手続きを行ったほか、緊急に資金が必要になった世帯に対し、5万円を限度にたすけあい資金の貸付を行いました。

(生計に関する相談対応件数:延べ245件「前年度比較△44件」)

### (1) 生活福祉資金相談員の設置

岩手県社会福祉協議会から補助を受け、専任の生活福祉資金相談員を1名設置し、迅速な貸付業務に努めました。

### (2) 生活福祉資金の貸付状況

資 金 種 別	貸付件数 (件)			30年度新規貸付金額 (円)
	累計	30年度新規件数	前年度比較	
総合支援資金 (旧 離職者支援資金を含む)	31	0	±0	0
福祉資金 福祉費 (旧更生資金、障がい者構成資金、生活復興支援資金を含む)	56	1	△1	540,000
福祉資金 緊急小口資金 (緊急小口資金 [特例] を含む)	34	1	△4	100,000
教育支援資金	198	6	3	12,111,000
不動産担保型生活資金 [一般]	0	0	±0	0
不動産担保型生活資金 [要保護]	8	0	0	0
合 計	327	8	△2	12,751,000

### (3) たすけあい資金の貸付状況

貸付件数 (件)			30年度新規貸付金額	30年度償還完了件数
累計	30年度新規件数	前年度件数比較	0円	0件
22	0	△2		

## 9 生活困窮者自立相談支援事業 (久慈市及び久慈管内町村) の実施

### (1) 生活あんしん相談室の設置運営

主任相談支援員1名、久慈市相談支援員1名、久慈市(町村兼務)家計相談支援員1名、町村相談支援員1名、就労支援員1名を配置し、生活困窮者の相談に応じ必要な情報提供や助言を行うとともに、支援計画を作成し関係機関と連携を図りながら、生活困窮者の自立促進に向けた支援を実施しました。

区 分		30年度	前年度比較
新規相談件数	久慈市	142件	38件
	管内町村	90件	17件
相談延べ件数	久慈市	1,080件	73件
	管内町村	1,848件	496件

## (2) 支援調整会議の開催

生活困窮者に適切な支援が提供されるよう、本人と一緒に自立に向けた支援計画を作成し、自立の促進が図れるよう、支援調整会議を実施しました。

区 分		30年度	前年度比較
支援調整会議	久慈市	10回	±0件
	管内町村	14回	△1件

## 10 久慈地域成年後見センター事業の実施

管内4市町村から久慈地域成年後見センター事業の委託を受け相談員2名を配置し、成年後見制度の普及啓発や相談支援を実施したほか、法人後見を受任するなど権利擁護の推進に努めました。

### (1) 久慈地域成年後見センターの設置運営

- ① 運営委員会の開催（2回）
- ② ネットワーク会議の開催（6回 参加者延べ124名）
- ③ 市民後見人フォローアップ研修の開催（全4回、登録者数28名）
- ④ 市民セミナーの開催

期 日	場 所	内 容
7月11日	久慈市文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者：127名</li> <li>・講 演：～住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けるために～「成年後見制度と共生型地域コミュニティ」</li> <li>・講 師：有限会社ウィルビー代表取締役 志 村 尚 一 氏</li> </ul>

### ⑤ 相談支援の実施

区 分		30年度	前年度比較
相談件数	管内全体	238件	118件
	久慈市（再掲）	162件	75件

### (2) 法人後見の実施

- ① 受任状況 後見類型 2名、補助類型 1名
- ② 法人後見審査委員会の開催（2回）

## 11 日常生活自立支援事業（あんしんねっと）の実施

管内4市町村社協の基幹社協として専門員2名と管内市町村に生活支援員14名を配置し、判断能力に不安のある高齢者や障がいのある方々に対して、日常生活の金銭管理や福祉サービス利用の相談援助などを実施しました。

件 数		30年度	前年度比較
利用契約件数	管内全体	106件	2件
	久慈市（再掲）	72件	4件
相談件数	管内全体	3,042件	54件
	久慈市（再掲）	2,227件	2件

## 12 生活支援・介護予防体制整備事業の実施

生活支援コーディネーターを1名配置し、地域包括支援センター等関係機関と連携を図りながら、日常生活において支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活できる支援体制の構築に向けた取組として、地域のニーズと資源の状況を把握するため、町内会等への訪問活動を実施しました。(延べ29回)

## 13 受託事業の実施

### (1) 久慈市からの受託事業

#### ① 高齢化対策指導員設置事業

高齢化対策指導員を設置し、老人クラブの育成をはじめ、高齢者に対する福祉活動の充実に努めました。

#### ② 敬老会事業

敬老会実施主体との連絡調整、補助金交付、案内状作成等により地区敬老会の実施を支援しました。(市内56ヶ所、敬老会対象者数6,216名)

#### ③ いきいきシニアスポーツ大会

##### ア 久慈市いきいきシニアスポーツ大会の開催

実行委員会を組織し、関係機関と連携を図りながら大会を運営しました。

期 日	場 所	結 果
6月28日	サンスポーツランド	・参加選手454名 ・優 勝：夏井チーム、準優勝：山形チーム、 第3位：大川目チーム

##### イ 岩手県いきいきシニアスポーツ大会への参加

選手選考会を開催し選手団を編成するとともに、管内町村老人クラブ連合会等と連携を図りながら大会に参加しました。

期 日	場 所	内 容
9月1日	岩手県営運動公園 陸上競技場	・参加選手53名 ・順位：総合第6位

#### ④ 高齢者生きがいづくり事業

高齢者の生きがいと教養の増進を図るため、次の事業を実施しました。

##### ア 産業まつり「老人クラブコーナー」への出品

期 日	場 所	内 容
10月13 ～14日	アンバーホール会議室	・市内高齢者から671点の出品

##### イ 趣味の作品展示即売会の開催

期 日	場 所	内 容
2月2日	市総合福祉センター	・広域管内の高齢者86名(内、久慈市66名) から1,573点出品(内、久慈市1,284点) ・入場者数：約500名

ウ 白樺大学の開催

市内全域の高齢者を対象に全体学習や地区学級を実施しました。

期 日	開設地区・場所	内 容	参加者数
8月9日	開講式・全体学習 久慈市総合福祉センター	開講式典 講演:「暮らしに役立つ、音楽のちから」 講師:音楽療法士 智田邦徳 氏	97名
9月19日	河北地区学級 久慈市民体育館	実技:「体力測定」 講師:久慈市社会福祉協議会職員	63名
10月26日	山形地区学級 山形老人福祉センター	実技:「山形村短角牛の魅力」 講師:くじ短角牛肥育部会員	59名
11月16日	侍浜地区学級 侍浜市民センター	講演:「高齢者交通安全と防犯」 講師:侍浜市民センター所長 木地谷淳氏 侍浜駐在所長 熊谷啓延氏	62名
12月20日	山根地区学級 山根市民センター	実技:「しめなわ講習会」 講師: 澤里 聡 氏	57名
1月16日	小久慈地区学級 小久慈市民センター	講演:「久慈の宝 琥珀と化石」 講師:久慈市観光交流課ジオパーク研究員 佐々木 和久氏	56名
2月15日	夏井地区学級 夏井市民センター	実技:「たのしい健康体操」 講師:夏井地区老人クラブ連合会	77名
3月5日	閉講式・全体学習 山形老人福祉センター	閉講式典、皆勤賞・精勤賞の表彰 講演:「ココロとカラダの健康漫談」 講師:福々亭 ナミ子 氏	116名
合 計	全体学習 2回 地区学級 6回 計 8回	—	587名 (前年度比較 117名)

(2) 岩手県社協からの受託事業

① 生活支援相談員設置事業

東日本大震災による被災世帯の訪問活動等を行う生活支援相談員を設置し、久慈市等と連携して、被災者の支援に努めました。また、久慈市と連携して台風第10号による被災世帯の訪問活動も実施しました。

ア 被災世帯訪問

被災世帯を訪問し、世帯状況の把握、心配ごとの傾聴、情報提供等を行い、被災者の心のケアに努めました。

訪問回数	訪問世帯数	訪問対象世帯
延べ210回	延べ323世帯	東日本大震災 : 33世帯 台風10号災害 : 6世帯

(3) 岩手県からの受託事業

① 精神障害者社会適応訓練業務

協力事業所として仕事(清掃等の軽作業)の場を提供するとともに、保健所と連携して在宅精神障害者の社会参加の促進に努めました。(2名を延べ58日受け入れ)

## 14 居宅介護支援事業の実施

- (1) 指定居宅介護支援事業所として、適切な介護サービスが提供されるよう、要介護認定を受けた利用者・家族の相談を通して、ケアプラン作成等ケアマネジメントの実施に努めました。

件数	30年度	前年度比較
ケアプラン作成延べ件数	3,432件	△161件
月平均	286件	△14件

- (2) 要介護認定調査事業を受託し、介護支援専門員による訪問調査を実施し、介護保険制度の円滑な運営に努めました。

件数	30年度	前年度比較
要介護認定調査延べ件数	108件	27件
月平均	9件	2件

- (3) 久慈市地域包括支援センターから介護予防支援業務を受託し、要支援の認定を受けた利用者の介護予防プランを作成しました。

件数	30年度	前年度比較
介護予防プラン作成延べ件数	198件	△58件
月平均	17件	△4件

## 15 福祉サービスの苦情解決事業及び第三者委員の設置

社会福祉法に対応した苦情解決の体制整備のため、有識者4名を第三者委員に委嘱するとともに、苦情解決責任者、受付担当者を配置し利用者からの苦情受付窓口を開設しました。

苦情申し立て件数	0件
----------	----

## 16 福祉基金利息の活用

- (1) 市民や団体等からの寄附を基金に積み立てました。  
福祉基金総額 253,158,192円
- (2) 福祉基金利息を活用し、地域のボランティア活動へ助成しました。  
(助成団体4団体、助成総額286,000円)

## 17 共同募金運動の促進

共同募金会やボランティア団体等と連携した事業を実施し、共同募金運動の促進に努めました。

- (1) 赤い羽根チャリティパークゴルフ大会の開催 (益金:54,860円)
- (2) 歳末たすけあい芸能大会の開催 (益金:284,440円)
- (3) 歳末たすけあいチャリティ演芸会の開催 (益金:193,405円)

## 18 その他の事業

- (1) 久慈地区広域社協連絡協議会の事務局として、久慈管内社協の連絡調整と事業の推進に努めました。

期 日	事業名	場 所	内 容	参加者
8月3日	役職員研修会	平庭山荘・パークゴルフ場	講演「地域興し～その取り組みの経緯と活動について」 講師：くじ山形村短角牛肥育部会 会長 中屋敷 稔 氏 スポーツ交流会（パークゴルフ）	27名
11月23日	久慈管内ボランティア交流会	久慈市総合福祉センター	救急講習会「災害時への備えと救急講習」及び情報交換会 講師：久慈消防署 救急救命士	31名
11月28日	広域民生児童委員研修会	アンバーホール	事例紹介「久慈圏域における成年後見制度利用促進の取組状況について」 講師：久慈地域成年後見センター 主任相談員 式又 みち 氏 講演「成年後見制度の仕組み」とその利用促進における留意点について 講師：しんきん成年後見サポート花巻 常務理事 照井 正夫 氏	122名
1月30日	管内市町村長への要望書提出	管内市町村	管内市町村長に要望書を提出し、社協の基盤強化、福祉活動支援等について要望した。	9名
2月8日	家庭介護者の集い	グリーンヒルおの	講話：「笑って健康 頑張らない介護」 講師：洋野町地域包括支援センター 主任介護福祉士 野田 光枝 氏 懇談会・入浴、お楽しみ抽選会	28名

- (2) チャレンジド結っこ・やませの里連絡協議会への協力

久慈地域の障がい者団体・施設、市町村、社会福祉協議会で構成する協議会の事務局として交流会や講演会の開催に協力し、ノーマライゼーションの理念の普及と心のバリアフリー化の促進に努めました。



## 資金収支計算書

(自)平成30年4月1日(至)平成31年3月31日

■社会福祉法人 久慈市社会福祉協議会

■区分:法人全体

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
	大			
事業活動による収支	収入			
	会費収入	10,615,000	10,595,200	19,800
	寄附金収入	233,000	176,822	56,178
	経常経費補助金収入	59,488,000	59,486,486	1,514
	受託金収入	101,557,000	101,225,105	331,895
	貸付事業収入	49,000	21,000	28,000
	事業収入	10,422,000	9,761,517	660,483
	介護保険事業収入	63,716,000	63,562,848	153,152
	受取利息配当金収入	430,000	421,638	8,362
	その他の収入	10,891,000	10,866,200	24,800
	事業活動収入計(1)	257,401,000	256,116,816	1,284,184
	支出			
	人件費支出	187,956,085	187,634,970	321,115
	事業費支出	55,205,228	53,295,515	1,909,713
	事務費支出	13,551,772	13,322,376	229,396
	貸付事業支出	50,000	0	50,000
	共同募金配分金事業費	3,092,000	3,092,000	0
助成金支出	10,471,464	10,400,320	71,144	
負担金支出	131,720	131,720	0	
事業活動支出計(2)	270,458,269	267,876,901	2,581,368	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△13,057,269	△11,760,085	△1,297,184	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
	固定資産取得支出	6,423,000	6,349,104	73,896
施設整備等支出計(5)	6,423,000	6,349,104	73,896	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△6,423,000	△6,349,104	△73,896	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	35,857,000	33,721,328	2,135,672
	その他の活動による収入	12,811,000	12,910,150	△99,150
	その他の活動収入計(7)	48,668,000	46,631,478	2,036,522
	支出			
	基金積立資産支出	50,000	22,702	27,298
	積立資産支出	41,307,000	31,531,363	9,775,637
	その他の活動による支出	3,635,000	3,593,160	41,840
	その他の活動支出計(8)	44,992,000	35,147,225	9,844,775
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,676,000	11,484,253	△7,808,253	
予備費支出(10)	1,480,000	0	1,480,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△17,284,269	△6,624,936	△10,659,333	
前期末支払資金残高(12)	21,694,000	21,692,587	1,413	
当期末支払資金残高(11)+(12)	4,409,731	15,067,651	△10,657,920	